

森林木の譚

二十世紀の森づくりシリーズ

74



「カラタネオガタマ」

一月十一日に行われました平成十六年須恵町成人式は晴天のもとに厳肅なる式を無事終了いたしました。例年通り新成人三三五名の記念樹を植樹しました。記念樹は日本名「カラタネオガタマ」(唐種招霊)と呼ばれるモクレン科の木です。名の由来について、「唐」は中国(唐)産で、「オガタマ」は「オキタマ」(招霊)より転じたと考えられます。樹高はせいぜい五



分程度の常緑樹でやや寒さに弱い。植樹のものは「ポートワイン」という園芸種名を持っています。花は四月の終わりごろから咲き、甘い香りを放ちます。またその香りがバナナの香りに似ていることで「バナナツリー」の異名を持ちます。花は赤紫色を帯びたところからポートワインの園芸種名を得たと思われる。中国南部原産です。で、亜熱帯から熱帯エリアに近い地域に繁茂しています。観音谷十一面観音堂入口左手に日本産のオガタマの木がありますが、これは同種ですが二十センチの大きくなります。アザレアホール正面向かって右手の植え込みに植樹しています。どうぞ花の時期にご覧ください。

(自然教育林事務局長)

珍しい木・想い出の木・不思議な木・植物好き・花好きなど、木にまつわるおもしろい話を教えてください。

▼連絡先 歴史民俗資料館
☎9333・6312

歴史民俗資料館

昔の生活民具シリーズ…43

須恵焼 染付双龍鳳文五段重箱

今回は久我記念館に収蔵された新資料の須恵焼を紹介いたします。「染付双龍鳳文五段重箱」約二十五センチ角で一段の高さが約七センチ、全体の高さが三十七センチです。時代は幕末、第二期藩窯時代になります。青色絵の具である呉須の発色は鮮やかで、蓋に見事な龍が点対称に描かれており、その龍を唐草が囲んでいます。また側面は五段を二面として背面方向にそれぞれ同じ柄の点対称の双龍、また双鳳凰が描かれています。蓋と同じように龍・鳳凰ともに唐草に囲まれています。龍・鳳凰とも架空の動物ですが、元々この動物は龍青龍(朱龍)ドラゴンが東方向、鳳凰(朱雀)フェニックスが南方向をつかさどると言われています。龍は力、鳳凰は不死などを象徴し、東洋の伝統的デザインとして多用されており、中国では皇帝の絵柄として欠くべからざるものでした。このように非常に格調ある絵柄が、極めて精密に絵付けされており、須恵焼の技術水準の高さを示すものです。またこの重箱は本当に不思議な縁があり、底の銘を確認しましたら十二月号で紹介した作家のものと同一であることがわかりました。残念なことにはこの資料は若干の窯疵と四段目を欠失しており完全なものではありません。



(館長)

合併問題に関する

住民説明会を開催します

— 3町の将来像を紹介 —

もしも志免町、宇美町、須恵町が合併するとしたら、

「どのようなまちになるのか」

「財政はどうなるのか」など

皆さんはお考えになるのではないのでしょうか。

その資料となる「まちづくり構想」のダイジェスト版を、この広報2月号に折り込んでいます。

協議会では、住民の皆さんにダイジェスト版の内容を十分に理解していただいた上で、合併問題を考えしてもらおうと、次の日程で住民説明会を開きます。是非ともご参加ください。

●日時・場所

- ・2月25日(水) アザレアホール須恵
- ・2月26日(木) 宇美町立中央公民館
- ・2月27日(金) 志免町立市民センター

時間はすべて午後7時からです。

※どの会場でも、参加することができます。託児を希望される方は、事前に事務局までご連絡ください。手話通訳あります。

合併まちづくり構想町民会議は、昨年12月12日の第5回会議をもって終了しましたが、その町民会議がとりまとめた提言(抜粋)を次のとおり紹介します。

志免町・宇美町・須恵町まちづくり構想作成について(提言)

志免町・宇美町・須恵町合併まちづくり構想町民会議では、各分野にわたり住民の立場からまちづくりについて、議論を重ねてまいりました結果、別紙のとおり意見をまとめましたので、ここに提言いたします。

なお、私たちの提言が今後のまちづくりに役立つことを期待します。
平成15年12月12日

志免町・宇美町・須恵町 合併問題任意協議会 会長 南里 辰己 様	志免町・宇美町・須恵町 合併まちづくり構想町民会議 座長 藪野 祐三
--	--

- 1 まちづくりの基本理念
 - ◆全ての施策は住民本位を基本とする。
 - ◆施策の実施は住民と自治体の協力関係を基本とする。
 - ◆障害者・要介護者の主体性・自立性を図るため、きめ細かな支援をする。
 - ◆3町合併後においても旧3町の施設等の利用促進を図る。

合併問題に関するアンケート調査集計結果

回答率 40・4%

三町の十八歳以上の住民二万人を対象に、平成十五年十月二十四日から十一月十日まで実施したアンケート調査の最終結果がまとまりました。居住する町の施設や行政サービスの現状の満足度では、上水道の整備や病気の予防対策など四項目で満足度が不満足度を上回りました。一方、河川の整備ほか二十九項目では、不満足度が満足度を上回りました。道路・河川・公園緑地の整備や商業の振興、医療施設や外国語教育

の充実などの施策が重要になると、考えている人が多いようです。まちの将来像では、「交通事故、犯罪の少ない安全なまち」「福祉サービスが充実し、安心して暮らせるまち」が望まれています。合併に対する期待や不安では、合併の効果を期待する半面、心配な面もあわせ持っているようです。この集計結果は、まちづくり構想策定の参考にさせていただきました。